



平和と人権について考える..

校長 井上 敬夫

2022年も年末を迎えました。今年を振り返ると「平和」について改めて考えさせられる一年間だった気がします。

2月のロシアによるウクライナ侵攻は、世界中に大きな影響を与えました。「平和な日本」に暮らしていると、世界中に紛争の種があることは理屈では理解していても、実感として沸かない面が多かったのですが、今回のウクライナ侵攻では、毎日のように映像やニュースとして当該国の被害の様子を知ることが出来て、リアルに戦争の悲惨さや恐怖、悲しみなどが伝わってきます。

「平和な日本」と書きましたが、現在の日本だって決して安定的な平和が保障されているわけではありません。北朝鮮からの弾道ミサイルが発射されて、警報やニュース速報が流れたのは記憶に新しいでしょう。東アジアの周辺でも紛争が起こりうる状況なのは、日々の報道等で確認できます。

11/14(月)に「板橋区平和のつどい」が行われました。夏休み中に板橋区の各中学校の代表生徒が広島・長崎それぞれ二つに分かれて被爆地を訪問し、平和について学んだレポートを発表しました。太平洋戦争において原子爆弾(核兵器)を投下された歴史から、戦争がどれだけ人権を踏みにじる行為なのかをそれぞれの生徒が自分たちの言葉で発表している様子を見て感銘を受けました。世の中が不安定になってきていることを私たちは肌で感じています。改めて「平和の大切さ」や「人権を尊重する」ことについて一人一人が考えて欲しいです。

ここで一冊の本を紹介します。

○田中孝幸『13歳からの地政学』東洋経済新報社 2022

私は「地政学」という言葉を知りませんでした。地理的な条件と政治や文化、国家の動向との関係について考察する学問なのだそうです。世界の物流に関わる歴史的な知識は、シルクロードくらいしかなかった私には、とても刺激的な本でした。現在の複雑な世界情勢について、考えるヒントを与えてくれる本です。

SNSの発達で、世界中の情報が瞬時に伝達される世の中になっても、自分が住んでいる国の地理的な条件で一定の行動原理が予測されるということ。このことを理解した上で、将来世界中が平和になるためには何が必要なのかを考えていくことが私たちに求められているのでしょう。



8年生・鎌倉校外学習

11/25(金) 8年生は鎌倉校外学習を行いました。天候に恵まれて、生徒は一日鎌倉の史跡・旧跡を巡りながらの班行動を頑張りました。

蓮根駅からあらかじめ計画した行動予定に従って電車に乗って本格的な班行動を行うのは、中学校に入ってからは初めての経験です。電車の遅れや行き先の間違い、班員と離ればなれになってしまう等のアクシデントが起こった場合の対応力も試されます。幸い大きな事故もなく無事終わることが出来て良かったです。来年度の修学旅行に向けて良い経験が積めたでしょう。

鶴岡八幡宮や鎌倉駅前などで班行動中の生徒に遭遇しました。心から楽しんでいる様子を見て、校外学習の素晴らしさを改めて実感した一日でした。



文化的な行事での活躍

10月下旬から11月にかけて、「芸術の秋」にちなんで板橋区で行われた様々な文化的行事に本校の文化部が参加しました。

11/5(土)には板橋区音楽祭に吹奏楽部が演奏を披露し、同日の午後には連合演劇発表会に本校の演劇部が参加しました。(ともに板橋文化会館)



11/11(金)には、成増アクトホールで英語のつどいが行われ、本校の英語部がビデオ参加でしたが英語劇を披露しました。

普段の部活動がコロナ禍の影響で制限されている中、精一杯のパフォーマンスを見せてくれました。



臨時生徒総会

11/19(土)に臨時生徒総会が行われました。校則に関して一部修正する項目を、生徒たちの意見を反映させながら、生活委員会が原案を作成しました。



質疑応答の様子……

自分たちで学校のルールを見直してこうとする動きを「ルールメイキング」といいます。学校の自治活動がこれまで以上に活性化することを期待しています。より良い学校生活になることを願って…。

ボッチャ体験学習

12/2(金) 7年生はボッチャ体験学習を行いました。「ボッチャ」は東京パラリンピックで注目を集めた競技で、専用のボールを目標にどれだけ近づけられるかを競います。対戦相手との駆け引きもあり、戦術的にも奥が深いゲームです。



これを機会にオリンピック・パラリンピックに興味を持ってくれることを期待しています。